

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ立ててく4

国立市立国立第七小学校

平成28年9月1日 NO.37 (337)

モンタ博士「^{くにたちだいなしょうがっこう}国立第七小学校の^こよい子のみなさん。おひさしぶりです。いよいよ^{しんがっき}新学期
^{おお}大きなケガや^{じこ}事故がなく、みんな^{げんき}で^{えがお}笑顔で^{がっき}2学期がスタートできて、
モンタ博士はとってもうれしいよ。」

オー君「そうですね。^{がっき}2学期は1番^{ばんなが}長い^{がっき}学期なんですね。それに^{えんそく}遠足や^{こうがいがくしゅう}校外学習、
さらに^{てんらんかい}展覧会などなど、^{たの}楽しい^{ぎょうじ}行事がいっぱいだ。」

花ちゃん「そうね。これからは、^{すこ}少しずつ^{すす}涼しくなって^{きこう}気候もよくより、^{どくしょ}読書の^{あき}秋、
^{へんきょう}勉強の^{あき}秋、^{あき}スポーツの秋ですね。」

モンタ博士「そのとおりだね。^{おお}大いに^{あそ}遊び^{まな}学び、『かしこく・やさしく・げんきよく』
^{くにたちなしょう}国立七小の^こ子どもとして^{きだい}がんばって^{きだい}いこう。期待しているよ。ところで、
^{ふたり}二人とも^{なつやす}夏休みに、^ま真っ^{くろ}黒に^ひ日^や焼けしてたくましくなったね。」



^{まいにち}毎日、^{がっこう}学校のプールで
たくさん^{およ}泳いだんです。

^{あつ}暑くても、^{そと}外で^{げんき}元気に
^{あそ}遊んだんです。



モンタ博士「それはすばらしい。これからもじょうぶな体をつくっていこう。」

オー君 「ところで、モンタ博士。お日様に当たると、どうして黒く日焼けするの。」

モンタ博士「それはいい質問だね。みんなで科学的に考えてみよう。」

花ちゃん 「海に行ったりして、たくさん日光浴をすると、赤くなったりいたかったりするけど、日焼けって、やけどみたいなものなんですか。」

モンタ博士「そうだね。急にたくさんの日光をあびると危険だから気をつけよう。太陽の光の中には、目に見えない『紫外線』という光がふくまれているんだ。その光をたくさんあびると、皮膚が黒っぽくなるんだ。」

花ちゃん 「どうして黒くなるのですか。もう少しわかりやすく教えてください。」

モンタ博士「ちょっとむずかしいお話になってしまうけど、『紫外線』をあびると、体を守るために皮膚にある『メラニン細胞』が『メラニン色素』を作るんだ。」

オー君 「『メラニン?』なんて聞いたことないよ。」

モンタ博士「『メラニン色素』がたくさん作られると、皮膚の色が黒っぽくなるんだよ。」

花ちゃん 「太陽の光、つまり『紫外線』をたくさんあびると、体にいいのですね。」

モンタ博士「そうでもないんだよ。『紫外線』には、よい働きとして、骨をじょうぶにしたり、細菌をころしたりするんだ。でもね、その反対に、光をあびると、しみができたり、皮膚のガンになりやすくなったりするよ。目を悪くすることもあるので、気をつけてほしいね。」

オー君 「『紫外線』っていろいろなんですね。とてもよい勉強になりました。」

花ちゃん 「人間の体って、不思議がいっぱいですね。これからも調べたいです。」

モンタ博士「そうだね。『国立てくてく』で、人間の体の不思議さを学んでほしいね。」

